

令和3年10月7日
農林水産部

報道関係者各位

「最上川流域の紅花システム」の世界農業遺産の申請について

山形県紅花振興協議会（会長 山形県知事 吉村美栄子）は、「最上川流域の紅花システム」を世界農業遺産に申請するため、本日、農林水産省経由で国連食糧農業機関（F A O）に申請書を提出しましたのでお知らせします。

世界農業遺産は、世界において重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域をF A Oが認定する制度です。本年2月に農林水産省より申請の承認を受けており、このたびのF A Oへの申請書提出が「世界農業遺産の申請」となります。

世界農業遺産の認定を目指し、F A Oによる審査への対応を進めてまいります。

記

1 世界農業遺産の認定申請書について

申請書名：Safflower System in the Mogami River Basin

（最上川流域の紅花システム～歴史と伝統がつなぐ山形の「最上紅花」～）

申請地域：Mogami River Basin Region, Yamagata（山形県最上川流域）

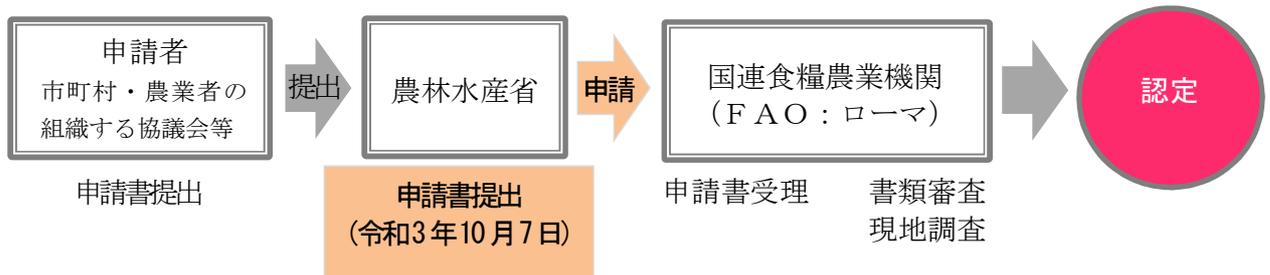
申請者：Yamagata Safflower Promotion Organization（山形県紅花振興協議会）

申請内容：別添1のとおり

提出日：令和3年10月7日

2 今後の予定について

F A Oによる審査を経て、認定が決まります。審査スケジュールは未定です。



（参考）別添1 最上川流域の紅花システムの概要

別添2 F A Oに申請書を提出した世界農業遺産候補地域

【問い合わせ先】

山形県農林水産部園芸農業推進課

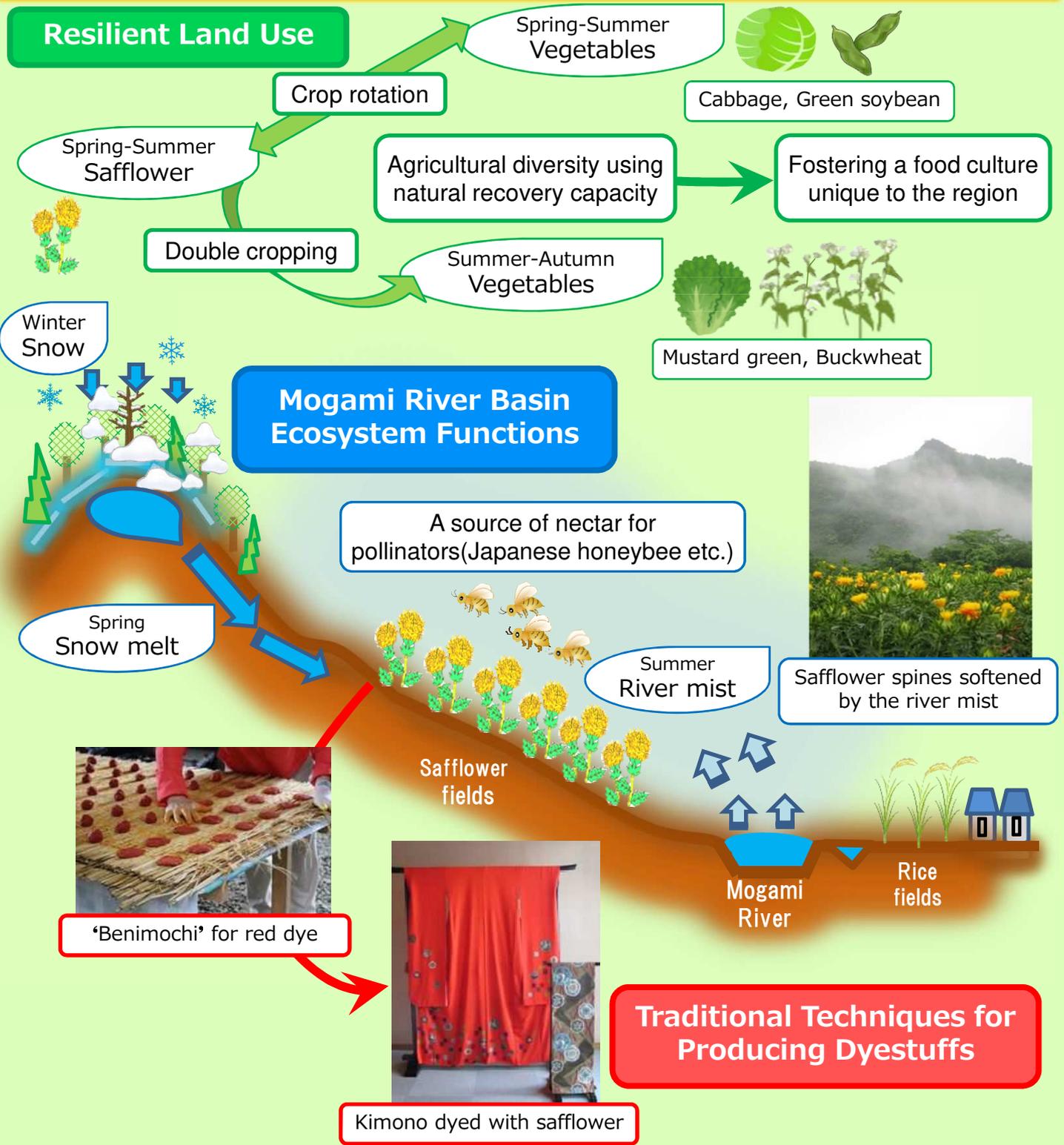
課長補佐（果樹・野菜花き振興） 加藤 栄美

TEL：023(630)3380

[報道監] 農林水産部次長 星 里香子

Safflower System in the Mogami River Basin

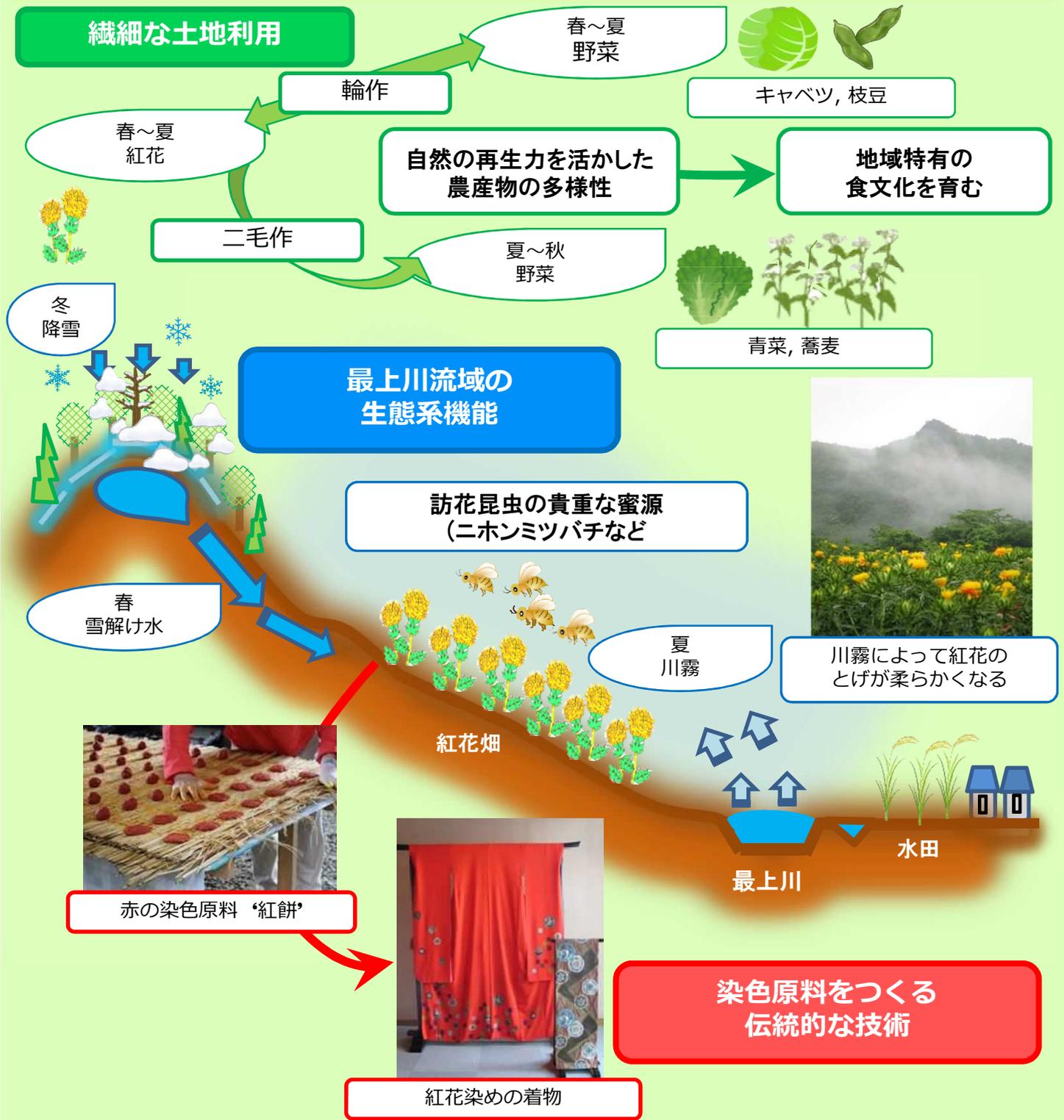
Safflower system in the Mogami River Basin is unique throughout the world for the way that small-scale farmers have for centuries leveraged the local topography and climatic conditions to cultivate safflower alongside various other crops, harvesting the petals to produce the raw material for a traditional red dye long used in Japan.



最上川流域の紅花システム

～ 歴史と伝統がつなぐ山形の「最上紅花」～

最上川流域は、地形や気象条件を活かし、小規模な農家が昔ながらの知恵で ある繊細で複合的な土地利用によって、「赤」の伝統的な染色用作物である紅花の栽培及び染色用原料の生産を行う世界でも類を見ない地域である。



FAOへ申請書を提出した世界農業遺産候補地域

都道府県	山形県	申請地域名	山形県最上川流域(山形市、米沢市、天童市、山辺町、中山町、河北町、白鷹町)
団体名	山形県紅花振興協議会		
お問合せ先	山形県農林水産部園芸農業推進課 tel:023-630-3380(直通)		
	認定の種類	世界農業遺産への認定申請に係る承認 (平成30年度に日本農業遺産に認定済み)	
	システムの名称	最上川流域の紅花システム ～歴史と伝統がつなぐ山形の「最上紅花」～ Safflower System in the Mogami River Basin	
	地域の概要	最上川流域は、地形や気象条件を活かし、小規模な農家が昔ながらの知恵である繊細で複合的な土地利用によって、「赤」の伝統的な染色用作物である紅花の栽培及び染色用原料の生産を行う世界でも類を見ない地域である。	
都道府県	埼玉県	申請地域名	埼玉県武蔵野地域(川越市、所沢市、ふじみ野市、三芳町)
団体名	武蔵野の落ち葉堆肥農法世界農業遺産推進協議会		
お問合せ先	埼玉県三芳町観光産業課 tel:049-258-0019 (内線219)		
	認定の種類	世界農業遺産への認定申請に係る承認 (平成28年度に日本農業遺産に認定済み)	
	システムの名称	大都市近郊に今も息づく武蔵野の落ち葉堆肥農法 The Musashino's Fallen Leaves Manure Agricultural system that is still alive in the suburb of Tokyo	
	地域の概要	水が乏しく栄養分が少ない土地で、平地に林を作り出し、落ち葉を集めて堆肥とする伝統的な「落ち葉堆肥農法」を確立し、特徴的な景観と生物多様性を育み、大都市近郊にも関わらず、現在においても受け継いでいる。	
都道府県	島根県	申請地域名	島根県奥出雲地域(奥出雲町)
団体名	奥出雲町農業遺産推進協議会		
お問合せ先	奥出雲町役場 農業振興課 tel:0854-54-2513		
	認定の種類	世界農業遺産への認定申請に係る承認 (平成30年度に日本農業遺産に認定済み)	
	システムの名称	たたら製鉄から持続可能な農業へ 奥出雲の農村開発システム From Traditional Ironmaking to Sustainable Agriculture: The Rural Development System of the Okuizumo Area	
	地域の概要	砂鉄鉱山跡地を棚田に造成し、採掘のために導いた水路やため池を灌漑に利用するなど、伝統的な製鉄から発達した知識を農業に応用した独自の土地利用により稲作を中心とした複合的な農業を営んできた。	